

4 横浜みどり税による成果

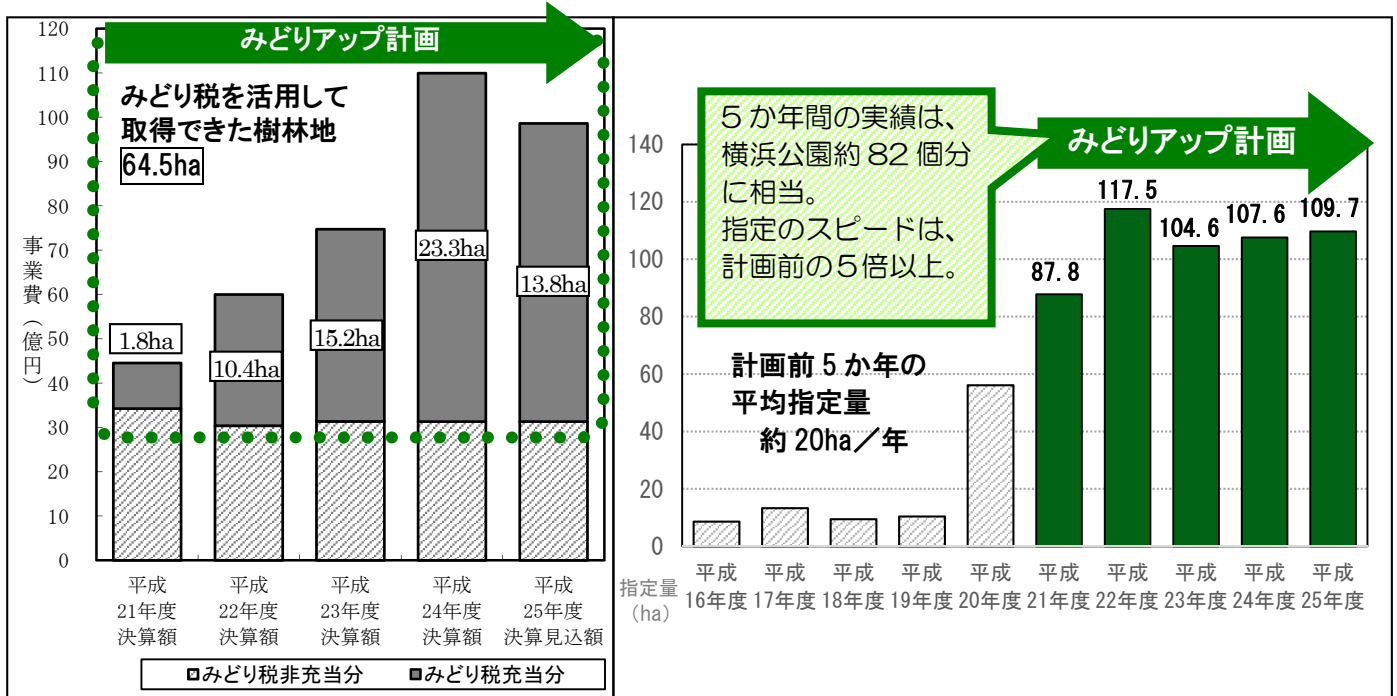
(1) 樹林地を守る施策

ア 主な事業による成果

指定・買取による樹林地の保全

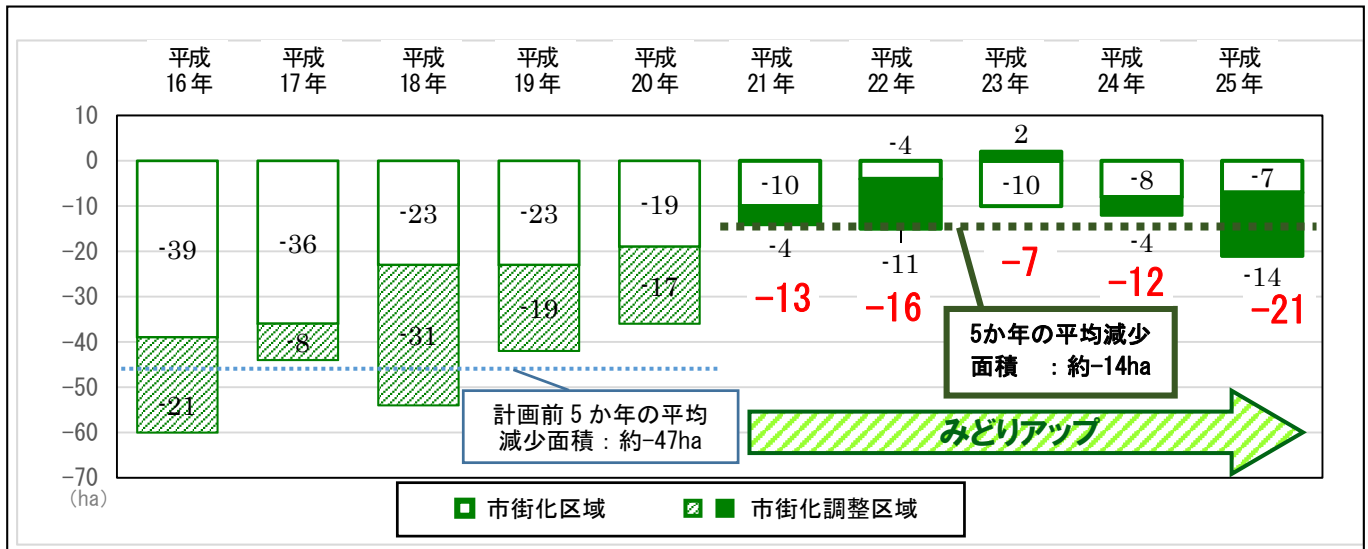
5か年事業費：387億円 みどり税非充当事業 158億円
 みどり税充当事業 229億円
 [内みどり税 47億円]

- みどり税を活用することで、指定地での買取希望に対して確実に対応し、取得面積を計画以前より増やすことができました。
- 不測の事態による買取希望などに対応してもらえる安心感から、樹林地の指定推進が大幅に進みました。
- 指定・買取が大幅に進んだことなどにより、樹林地の減少傾向が鈍化しました。



[図] 樹林地取得の事業費の推移

[図] 緑地保全制度による年度ごとの新規指定面積等の推移



[図] 課税地目山林面積の推移 (※固定資産概要調書等をもとに集計)

イ みどり税により新たに取組んだ事業の成果

みどり税を安定的な財源として活用することで、新たな事業に積極的に取り組み、成果を上げることができました。

3	市民の森等の管理	みどり税充当額	13億2,500万円
	多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等の間伐や下草刈りなどの管理を実施した 市民の森等を市民が安全に活用できるよう、危険斜面の整備などの管理を実施しました。	市民の森等の管理：767.5ha 危険斜面の整備：28か所	
4	民有樹林地の維持管理の助成	みどり税充当額	7,600万円
	樹林地所有者が保有し続ける課題の一つである、維持管理の負担軽減のため、緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成を進めました。	維持管理の助成：398件	
5	市民協働による緑地の維持管理	みどり税充当額	6,200万円
	多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等で、樹林地の将来像や維持管理の考え方を定める「保安全管理計画」を市民協働で策定しました。	保安全管理計画の策定：17か所	
6	森づくりリーダー等の育成	みどり税充当額	1,300万円
	森の維持管理を市民との協働により進めるため、「森づくりリーダー」など、森に関わる人材育成を進めました。	森づくりボランティア：201人 森づくりリーダー：61人 はまレンジャー：62人	
7	樹林地管理団体の活動助成	みどり税充当額	2,500万円
	森づくり活動を行っている団体に対して、積極的な森づくり活動を支援するための助成や、道具の貸出などの支援を行いました。	愛護団体・森づくりボランティアの支援：322団体	
8	森の楽しみづくり事業	みどり税充当額	5,300万円
	樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PRするため、楽しみながら保全活動に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型講座を実施しました	森林教室の開催：314回 (約2万4千名参加)ほか	
9	みどりの夢かなえます事業	みどり税充当額	2,200万円
	市民団体から、樹林地の保全と利活用の提案を募集し、優れた提案の実施を支援することで、市民協働による樹林地の保全を推進しました。	提案に対する実施支援：19件	
9	間伐材のチップ化支援	みどり税充当額	3,100万円
	樹林地の維持管理で生じた間伐材の活用を図るため、森づくり団体に対して、間伐材のチップ化作業の支援を行いました。	間伐材のチップ化作業支援：144回	

※みどり税充当額は5か年の合計・百万円未満は四捨五入

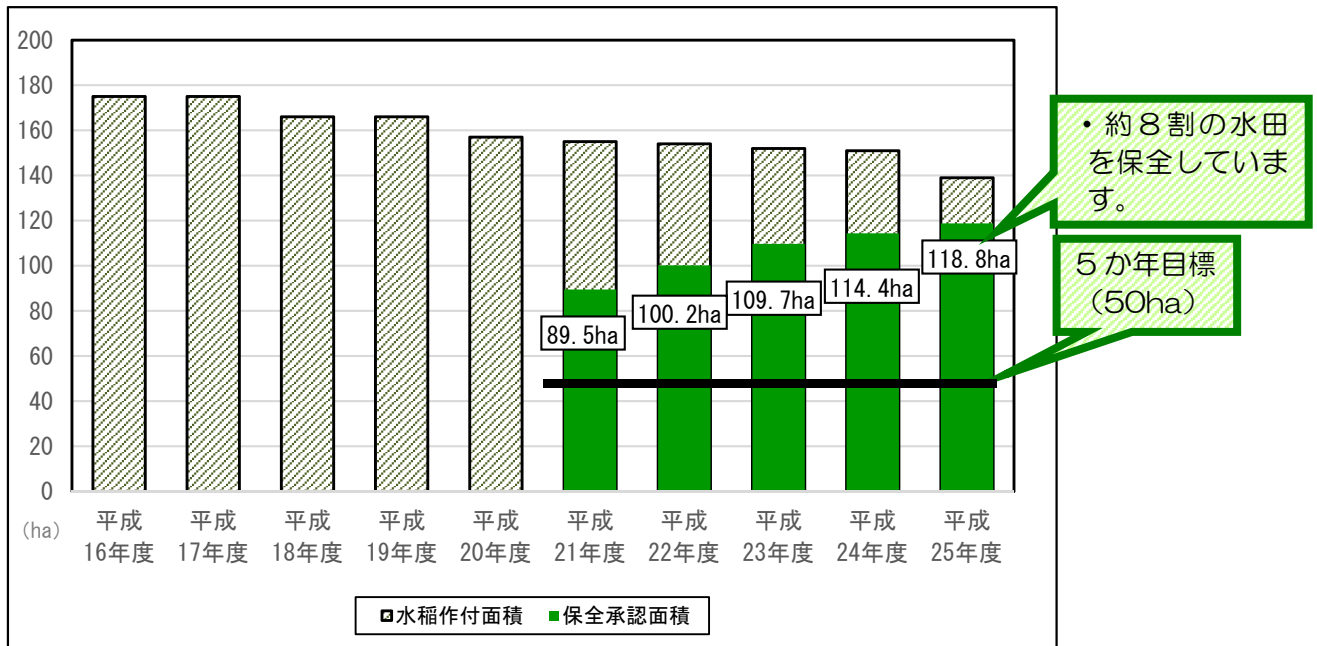


(2) 農地を守る施策

ア 主な事業による成果

水田の保全（5か年事業費：1億5,800万円[うちみどり税：1億5,800万円]）

- 水田は、優れた田園景観を構成するだけでなく、洪水防止や気象緩和などの重要な役割を担っていますが、農地としての収益性が低いことから、畑への転換や荒廃地化することが多く、年々減少しています。
- 一定期間、水田として継続することを条件に、みどり税を活用した支援を行うことで、約118ha・市域の水田の約8割を保全することができました



[図] 水稲作付面積と保全承認面積の推移



[写真] 夏の水田の風景（青葉区）



[写真] 秋の水田の風景（保土ヶ谷区）

イ みどり税により新たに取組んだ事業の成果

みどり税を安定的な財源として活用することで、新たな事業に積極的に取り組み、成果を上げることができました。

16 ・ 32	農園付公園の整備	みどり税充当額	3億6,800万円
	農地や里山景観を保全し、市民の農体験の機会を増やす農園付公園について、用地取得や設計・施設整備を進めました。	事業推進中：12か所（6.8ha） うち開設：1か所（0.4ha） 設計整備等：10か所（5.7ha）	
19	収穫体験農園の開設支援	みどり税充当額	1億7,600万円
	身近なところで地産地消を実感できるよう、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを体験することができる果樹園や農園の整備に対し支援を行いました。	収穫体験農園の整備に対する助成：21.0ha	
20	食と農との連携事業	みどり税充当額	1,500万円
	農家と市民・企業、様々な人や団体が連携した新たな地産地消の取組として、「食と農の祭典」をはじめとする様々な取組を展開しました。	様々な団体・企業等が連携した、新たな地産地消の取組：20件	
26	農地への不法投棄対策	みどり税充当額	6,900万円
	不法投棄が多発している農業専用地区などに、監視警報装置の設置や夜間監視パトロールを行うとともに、地域団体の清掃活動等を支援しました。	監視警報装置の設置：13地区 夜間パトロール：152地区 清掃活動等の支援：92地区	
27	周辺環境に配慮した施設整備の支援	みどり税充当額	2億4,500万円
	住宅に近接した農地等で、農業に伴って生じる臭気、農薬飛散など、周辺住民とのトラブルを避けるために必要な機械等の導入を支援しました。	農薬飛散防止ネット：24.7ha 牧草による環境対策等：83地区 ほか	
31	農地の長期貸付への誘導	みどり税充当額	4,900万円
	農地の貸し手に奨励金を交付することで、農地貸借の期間を長期化し、借り手農家が長期的な経営計画の下、安定した経営ができるよう誘導しました。	6年以上の長期貸付を開始した農地：62.3ha	
33	農地の流動化の促進	みどり税充当額	2,700万円
	優良な農地を規模拡大農家や新規参入者に利用集積するため、農地所有者から市が農地を借り入れ、貸付先を探すなど農地の流動化を促進しました。	新規の農地貸借：37.0ha	

※みどり税充当額は5か年の合計・百万円未満は四捨五入



(3) 緑をつくる施策

ア 主な事業による成果

地域ぐるみでの緑のまちづくり

（5か年事業費：10億6,100万円[うちみどり税：8億8,200万円]）

- 地域の皆さまと横浜市が協力し、地域ぐるみで緑化計画を策定するとともに、策定された計画に基づき、地域にふさわしい緑化を推進しました。
- 16地区において、地域にふさわしい緑化計画を策定しました。
- 14地区において、計画に基づき民有地と公共施設の緑化を進め、その中で、緑が不足している都心区では、緑化用地を取得し緑豊かな公園として整備することで、緑を創出する取組を進めました。



[写真] 地域ぐるみで策定した計画を実現するため、用地を取得して緑や花のスポットを整備（中区/プラフ99ガーデン）



[写真] 地域の玄関口となる場を彩る花壇の整備（旭区/上白根国際地区）

イ みどり税により新たに取り組んだ事業の成果

みどり税を安定的な財源として活用することで、新たな事業に積極的に取り組み、成果を上げることができました。

36	保育園・幼稚園の園庭芝生化	みどり税充当額	2,100万円
	民間の保育園・幼稚園の園庭の芝生化に対して支援し、子どもが親しむことのできる緑を増やすことができました。	園庭の芝生化：46園	
	名木古木の維持管理に対する助成	みどり税充当額	1,600万円
39	樹齢が概ね100年を超える樹木や、故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存するとともに、指定した樹木のせん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。	新規の指定：172本 維持管理の助成：202本	
	街路樹の適正な維持管理	みどり税充当額	8億6,600万円
	街路樹を良好に生育させ、美しく豊かな緑を提供するとともに、安全で円滑な通行を確保するため、せん定頻度を引き上げ、適正な維持管理を行いました。	街路樹の剪定：延べ61,362本 （街路樹：約13万本）	

※みどり税充当額は5か年の合計・百万円未満は四捨五入